

令和 5 年 5 月 16 日
消防庁消防大学校

民間競争入札実施事業
「消防庁消防大学校施設の管理・運營業務」の実施状況報告
(令和元年度・2年度・3年度・4年度)

基本方針に基づく標記事業の実施状況は以下のとおり。

I 事業の概要等

事 項	内 容
事業概要	消防大学校の建築物及び各種設備の運転・監視、日常点検及び保守業務、清掃業務、環境衛生管理業務、警備業務、植栽業務、寮費の徴収・納付業務、産業・一般廃棄物の処理等業務、寄宿舍用寝具類の管理業務、トイレトペーパーの供給業務、フロン排出抑制法に基づく点検業務
実施期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日までの 5 年間
受託事業者	日東カスタディアル・サービス株式会社
契約金額 (税抜)	268,800,000 円 (単年度当たり: 53,760,000 円)
入札の状況	2 者応札 (説明会参加 = 4 者 / 予定価内 1 者)
事業の目的	消防大学校は、国、都道府県の消防事務に従事する職員及び市町村の消防職員、消防団員に対し、幹部として必要な高度の教育訓練を行うとともに、消防学校又は消防教育訓練機関に対し技術的援助を行うことを目的として設置されている。 本事業は、消防大学校における教育訓練を円滑に実施するため、建築物及び各種設備の運転・監視、日常点検など計 16 項目の業務について、民間事業者の創意と工夫を活用することで業務の質の向上が図られるよう、一体的に業務委託を行うものである。
選定の経緯	公共サービス改革基本方針 (平成 19 年 10 月 26 日閣議決定) において選定された。第 92 回官民競争入札等監理委員会 (平成 24 年 6 月 18 日) において、良好な実施状況であると評価され

	新プロセスへ移行した上で、事業を実施することが適当と判断された（新プロセスとして3期実施）。
特記事項 (改善指示・法令違反行為等の有無)	特になし

II 評価

1. 事業の質に関する評価

(1) 包括的な質

包括的な質についてはすべての指標を達成していることから、業務が確実かつ適切に実施されたと評価できる。

各業務	測定指標	評価
建物及び設備等の適切な維持管理	<p>本施設の機能を維持し、大学校の行う教育訓練に支障を及ぼさないよう、また、教職員及び学生にとって、より快適な施設利用ができるよう、建物及び設備等の性能及び状態を常時適切な状態に維持管理する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 維持管理は、予防保全を基本とすること。 2 環境を良好に保ち、教職員及び学生の健康被害を防止すること。 3 建築物（付帯設備を含む。）が有する性能を維持すること。 4 劣化等による危険・障害の未然防止に努めること。 5 省資源、省エネルギーに努めること。 6 施設・設備の長寿命化に努めること。 7 建築物等の財産価値の確保を図ること。 8 環境負荷を低減し、環境汚染等の発生防止に努めること。 	<p>適</p> <p>（業務報告書の内容等から、確実かつ適切に実施されたと認められる。）</p>
施設利用者アンケートの満足度	<p>管理・運營業務に係る満足度について、施設利用者である学生を対象として、各学科修了時に大学校が行うアンケート（3段階評価）の各項目における「普通」以上の評価が、85%以上を占めること（詳細は別紙参照）。</p>	
	<p>(令和元年度)</p> <p>アンケート実施学科数：22 学科、11 コース等 回答数：1,384(対象人数：1,384 名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満 足 75.9% ・普 通 22.6% ・不満足 1.5% <p>なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響によ</p>	<p>適</p> <p>(「普通」以上 98.5%)</p>

	り、1科・1コースが中止となった。	
	(令和2年度) アンケート実施学科数：17学科、7コース等 回答数：1,027(対象人数：1,027名) ・満足 76.2% ・普通 22.7% ・不満足 1.1% なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、3コースが中止、3科が次年度への延期、1科・1コースが「回」の統合となった。	適 (「普通」以上 98.9%)
	(令和3年度) アンケート実施学科数：20学科、10コース等 回答数：1,151(対象人数：1,151名) ・満足 76.7% ・普通 21.6% ・不満足 1.7% なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、1コースが中止となった。	適 (「普通」以上 98.3%)
	(令和4年度) アンケート実施学科数：19学科、9コース等 回答数：1,203(対象人数：1,203名) ・満足 75.9% ・普通 22.8% ・不満足 1.7%	適 (「普通」以上 98.3%)
教育訓練の中断	管理・運營業務の不備に起因する教育訓練の中断がないこと。	適 (発生回数0回)
停電、空調停止及び断水	管理・運營業務の不備に起因する停電、空調停止及び断水がないこと。	適 (発生回数0回)
事故	管理・運營業務に起因する大学校内での人身事故及び物損事故の発生がないこと	適 (発生回数0回)

(2) 個別業務の質

個別業務の質については、業務報告書の内容等から确实かつ適切に実施されたと認められる。受託事業者から提出された各業務の実施状況に関する業務報告については、実施要項に沿った報告が期限内に行われており、また、業務の実施状況が正確に報告され、

全て適正なものであった。

なお、設備等の不具合など事案発生時の報告等についても、确实、かつ適時適切に行われた。

各業務	測定指標	評価
点検等及び保守業務	<p>1 定期点検、臨時点検及び保守業務</p> <p>(1) 点検 指定された業務内容を実施し、建築及び設備等の機能及び劣化の状態を調査し、異常又は劣化がある場合は、必要に応じ対応措置を判断し実行すること。</p> <p>(2) 保守 建築及び設備等の点検を行い、点検等により発見された建築等の不良箇所の修繕や部品交換等により建築物等の性能を常時適切な状態に保つこと。</p> <p>2 運転・監視及び日常点検・保守業務</p> <p>(1) 無事故、安全、無公害、高効率な運転を実施し、省エネルギーを図り、良好な環境を維持する。</p> <p>(2) 計画的、合理的で無駄のない運転を行う。</p> <p>(3) 運転前後の点検を確実にを行い、運転状態を常に監視し、異常のあるときは速やかに必要な処置を行う。</p> <p>(4) 電気・機械室の防災設備の監視を行い、異常のあるときは速やかに必要な処置を行う。</p> <p>(5) 各種の軽易な事故処理及び照明電球等の取替、その他コンセント関係等の日常的軽易な修繕、部品の取替を速やかに行う。</p>	<p>適</p> <p>(業務報告書の内容等から、确实かつ適切に実施されたと認められる。)</p>
清掃業務	<p>指定された業務内容を実施し、施設内外の汚れを除去し、又は汚れを予防することにより、快適な環境を保つこと。</p>	
環境衛生管理業務	<p>1 空気環境測定業務 適切な機材及び方法により室内空気質の状態を測定する。</p> <p>2 照度測定業務 適切な機器及び方法により室内の照度を測定する。</p> <p>3 害虫の防除及び駆除業務 適切な方法によりゴキブリの防除とダニの駆除を行い、衛生状態を保つ。</p>	
警備業務	<p>施設及び敷地内の秩序及び規則を維持し、盗難、破壊等の犯罪及び火災等の災害の発生を警戒・防止することにより、施設利用者（教職員及び学生等）の安全かつ円滑な執務・教育訓練環境の確保や保全を図るとともに、</p>	

	安全を守ることを目指し、誠意をもって行う。	
植栽業務	植栽について、繁茂しすぎないように剪定及び刈り込みを行うとともに、除草を行い、良好な状態を保つ。	
寮費の徴収・納付業務	寮費について、必要額を適正、確実な方法で地方公共団体から徴収し、全額を確実に国庫へ納付する。	
その他の管理・運営業務	<p>1 産業・一般廃棄物処理等業務 廃棄物について、関係法令等に従い、適切な方法で収集を行うとともに、適切な場所に運搬を行う。</p> <p>2 寄宿舍用寝具類の管理業務 寝具類について、必要な数量の供給を行うとともに、定期的な交換、洗濯、及び畳の乾燥を行い、良好な状態を保つ。</p> <p>3 トイレトペーパーの供給業務 トイレトペーパーについて、必要な数量の供給を行うとともに、在庫管理を適正な方法で行い、すべてのトイレにおいて欠品することがない状態を保つ。</p> <p>4 フロン排出抑制法に基づく点検 消防大学のフロン類を使用した機器のうち、第一種特定製品にあたる業務用の冷凍冷蔵・空調機器類の法定点検を行う。</p>	

(3) 民間事業者からの改善提案による改善実施事項

① 消費電力の節減に対する貢献

LED照明や通行量が多い場所の人感センサーの導入、照明の間引きのポイントなどの提案に加え、日常の空調運転において、使用していない教室等の空調を停止することによる節電対策の提案を行い、また、全館空調については、使用していない教室や授業中の寄宿舍寮室のスイッチをこまめに切る等の対応を実施した結果、本事業の契約期間中の消費電力は、平成20年度に比べ154,384Kwh(9.4%)削減された。

年 度	年間電気使用量	平成20年度比	
		使用量の差	削減率
平成20年度	1,635,657Kwh		
令和元年度	1,495,035Kwh	▲140,622kwh	▲8.6%
令和2年度	1,447,396Kwh	▲188,261kwh	▲11.5%
令和3年度	1,537,052kwh	▲98,605kwh	▲6.0%
令和4年度	1,445,610kwh	▲190,047kwh	▲11.6%
過去4年平均	1,481,273kwh	▲154,384kwh	▲9.4%

② 建物施設・設備等の経年劣化・老朽化に伴う故障・不具合発生への対応

施設内の設備等の軽微な不具合箇所について、民間事業者による速やかな報告、及び

迅速な補修が実施され、施設内の安全性・利便性等の確保に寄与するとともに、設備等の経年劣化・老朽化に伴う故障・不具合発生についての速やかな詳細報告、及びその修繕改修方法等に関する具体的な提案を行うことにより、消防大学校施設・設備の長寿命化に貢献している。

＜設備等の改修方法等に関する提案の具体例＞

- ・日々の使用水量の履歴を継続的に記録している事業者において、早期に使用水量の異常値に気が付き、その原因として、放水訓練で使用する井戸水の地下配管が老朽化による腐食のため漏水していることが判明した。その後、民間事業者の専門的な知見も活かし、井水の配水管系統の運用見直し（漏水箇所に係る地下配管のバルブを止め、第二本館の井水地下水槽から、消防ポンプ車で注水により、放水訓練で使用する高層訓練棟の井水地下水槽を満水状態とする当面の対応策）を実施するとともに、井水ポンプ設備の整備など抜本的な改善策の検討を進めた。
- ・事業者において、老朽化した南寮高架水槽のビス等が台風の影響で損傷したことに早期に気が付き、速やかな報告を行うとともに、ロープ等による適切な応急補修を実施し、部材の落下等による人身事故や、断水の発生を防止した。その後、民間事業者の専門的な知見も活かし、高架水槽設備の改修を進めた。
- ・火災報知設備の老朽化に伴い、誤作動による警報の複数発生があったが、事業者による誤作動履歴記録の個別確認により、その現象の多くが、消防車両に搭載されている特殊な（トランシーバー等よりも、強力な無線信号を使用する）無線機を訓練で使用中に発生していることが分かり、火災報知設備受信機が混信したことが判明した。このため、火災報知設備の更新整備時において、無線機プロテクター対策を加えることとし、その仕様作成等を進めている。
- ・なお、現在進めている老朽化した各種建物施設・設備等の改修・更新工事において日常的な建物施設・設備の運転・点検等業務の請負事業者として、竣工時の図面には反映されていない（追加整備等を行った）照明設備や給水設備等の現状に関する個別・具体的な指摘等を行うとともに、修繕・改修方法等に関する専門的な知見に基づくアドバイス等を行うことにより、老朽化した各種建物施設・設備等の改修・更新工事の適確な実施に貢献している。

③ 感染症対策等も踏まえた質の高い清掃業務の実施

多数学生の新型コロナウイルス感染症の感染事例（令和4年7月及び10月）を踏まえ、校内におけるアクリル板やアルコール消毒剤の効果的な配置や、寄宿舍（南寮はメドネット方式の半個室6人部屋）における陽性者・濃厚接触者の隔離実態（学生の動線等）を踏まえ、必要となる湯沸かし器・加湿器等の生活家電の追加配備や、感染防止対策としてのサーキュレーター・空気清浄機・オゾン発生器の新規整備など、新型コロナウイルス感染防止対策の充実・強化に関する具体的な提案を行うとともに、感染拡大防止の観点からの（寄宿舍各階の）共同洗面所、及び（北寮及び南寮）共同浴室・脱衣所の日常清掃時における次亜塩素酸水の散布等を実施した。

また、日常的に丁寧・確実な清掃業務の遂行が認められ、清潔感のある清掃等に取り組んでおり、利用者のアンケート結果においても8割の利用者が「満足」と回答し「普

通」を加えれば、各年度において99%超の評価を得るなど、学生の宿泊研修における安全・健康の確保、快適な研修環境の維持に寄与している。

なお、利用者アンケートにおいて、清掃作業員の学生に対する挨拶の励行など、誠実な業務遂行に関する評価コメント（自由記載）が、各年度で多数提出されている。

④ 警備業務等の充実・強化

土日・祝日、夜間における入寮学生への対応のほか、近隣住民等外部からの問い合わせ等にも丁寧に対応するとともに、学生の利便性も踏まえた上での警備業務の充実・強化に関する具体的な提案を行うことにより、校内における安全・安心の向上に貢献した。

<警備業務の充実・強化に関する提案の具体例>

- ・「門扉・建物」の施錠や校内警備巡回に係る運用（時間・回数・箇所等）の改善
- ・防犯対策強化の観点からの寄宿舍出入り口等への「テンキーロック錠」の設置

2. 実施経費についての評価

(1) 実施経費の状況

第1期（平成22年度～平成25年度）の実績評価を行った際、平成20年度の経費を従来の実施経費として採用した。これは、民間競争入札実施の直近年である平成21年度の清掃業務等について、従来どおりの仕様書に基づく最低価格落札方式による一般競争入札を行った結果、複数業者の過剰な価格競争によって著しく低価格の応札となり、当時の市場価格を大きく下回っていたことによる。

このことから今期（第4期）も同様に平成20年度の経費をベースに経費の比較を行うこととする。

(単位:円)

区分	従来の経費	民間競争入札実施後の経費				従来の経費との差				
	平成20年度(A)	令和元年度(B)	令和2年度(C)	令和3年度(D)	令和4年度(E)	(B)-(A)	(C)-(A)	(D)-(A)	(E)-(A)	
定額部分	建築物の点検業務	-	200,000	162,000	168,000	200,000	-	-	-	-
	自家用電気工作物の点検等及び保守業務	1,264,000	1,156,350	1,156,350	1,156,350	1,156,350	▲ 107,650	▲ 107,650	▲ 107,650	▲ 107,650
	施設設備等の点検等及び保守業務	4,611,000	2,833,400	2,599,400	2,901,400	2,833,400	▲ 1,777,600	▲ 2,011,600	▲ 1,709,600	▲ 1,777,600
	消防用設備の点検等及び保守業務	300,000	1,020,000	1,020,000	1,020,000	1,020,000	720,000	720,000	720,000	720,000
	エレベーターの点検等及び保守業務	1,166,000	1,176,000	1,176,000	1,176,000	1,176,000	10,000	10,000	10,000	10,000
	運転・監視及び日常点検・保守業務	11,646,000	10,080,000	10,080,000	10,080,000	10,080,000	▲ 1,566,000	▲ 1,566,000	▲ 1,566,000	▲ 1,566,000
	日常清掃業務(宿泊棟・観察室清掃含む)	7,964,000	11,258,400	10,504,200	10,790,400	11,119,825	3,294,400	2,540,200	2,826,400	3,155,825
	定期清掃業務	3,284,000	4,934,111	4,934,111	4,934,111	4,934,111	1,650,111	1,650,111	1,650,111	1,650,111
	特別清掃業務(窓ガラス清掃のみ)	359,000	214,500	214,500	214,500	214,500	▲ 144,500	▲ 144,500	▲ 144,500	▲ 144,500
	環境衛生管理業務(害虫駆除、空気環境測定及び照度測定)	422,000	851,400	851,400	851,400	851,400	429,400	429,400	429,400	429,400
	警備業務	6,695,000	8,880,000	8,880,000	8,880,000	8,880,000	2,185,000	2,185,000	2,185,000	2,185,000
	植栽業務	800,000	1,752,000	1,752,000	1,752,000	1,752,000	952,000	952,000	952,000	952,000
	寮費の徴収・納付業務	7,264,000	1,044,000	1,044,000	1,044,000	1,044,000	▲ 6,220,000	▲ 6,220,000	▲ 6,220,000	▲ 6,220,000
	小計	45,775,000	45,400,161	44,373,961	44,968,161	45,261,586	▲ 374,839	▲ 1,401,039	▲ 806,839	▲ 513,414
単価契約	産業・一般廃棄物処理業務	1,169,000	1,877,190	1,827,015	1,700,600	1,466,780	708,190	658,015	531,600	297,780
	宿舍用器具類の管理業務	6,020,000	7,441,175	5,611,110	5,807,150	5,509,540	1,421,175	▲ 408,890	▲ 212,850	▲ 510,460
	トイレ・ベーパーの供給業務	181,000	241,920	161,280	188,160	161,280	60,920	▲ 19,720	7,160	▲ 19,720
	小計	7,370,000	9,560,285	7,599,405	7,695,910	7,137,600	2,190,285	229,405	325,910	▲ 232,400
合計	53,145,000	54,960,446	51,973,366	52,664,071	52,399,186	1,815,446	▲ 1,171,634	▲ 480,929	▲ 745,814	
(参考) 「建築物の点検」「環境衛生管理業務(空気環境測定及び照度測定部分)」を除く合計	53,145,000	54,314,446	51,365,366	52,050,071	51,753,186	1,169,446	▲ 1,779,634	▲ 1,094,929	▲ 1,391,814	

※ 本表は、消費税及び地方消費税は除いた額である。

(注) 1 「建築物の点検業務」、「環境衛生管理業務(空気環境測定及び照度測定)」については、民間競争入札実施前は実施していない。

2 「消防用設備の点検等及び保守業務」、「日常清掃」及び「定期清掃」については、従来の契約額が過剰な価格競争により市場価格を大きく下回っていたものであり、本民間競争入札の実施により契約額が市場価格の水準に戻ったため、実績額が増加している。

また、「寮費の徴収・納付業務」については、業務内容に変更はなかったが、本民間競争入札の実施により実績額が大幅に減少し経費（コスト）節減が図られた。

3 平成28年に増築した北寮（女性学生専用の利便施設）に係る「日常清掃」及び「定期清掃」業務、及び平成26年に竣工した防災危機管理棟（教官の待機部屋・資機材倉庫）に係る「定期清掃」業務については、全体の床面積における増築・竣工部分に係る床面積割合でその実施経費を算出し除いている。

なお、第1期（平成22年度～平成24年度）と今期（第4期）も同様に経費の比較を行ったところ、次のとおりである。

(単位:円)

区 分	平成22年度～24年度 市場化テスト 第1期経費 3年平均(A)	市場化テスト(第4期)の経費				従来の経費との差					
		令和元年度(B)	令和2年度(C)	令和3年度(D)	令和4年度(E)	(B)-(A)	(C)-(A)	(D)-(A)	(E)-(A)		
定額部分	建築物の点検業務	177,667	200,000	162,000	168,000	200,000	22,333	▲15,667	▲9,667	22,333	
	自家用電気工作物の点検等及び保守業務	1,327,000	1,156,350	1,156,350	1,156,350	1,156,350	▲170,650	▲170,650	▲170,650	▲170,650	
	施設設備等の点検等及び保守業務	2,833,667	2,833,400	2,599,400	2,901,400	2,833,400	▲267	▲234,267	67,733	▲267	
	消防用設備の点検等及び保守業務	1,071,000	1,020,000	1,020,000	1,020,000	1,020,000	▲51,000	▲51,000	▲51,000	▲51,000	
	エレベーターの点検等及び保守業務	1,225,000	1,176,000	1,176,000	1,176,000	1,176,000	▲49,000	▲49,000	▲49,000	▲49,000	
	運転・監視及び日常点検・保守業務	10,332,000	10,080,000	10,080,000	10,080,000	10,080,000	▲252,000	▲252,000	▲252,000	▲252,000	
	日常清掃業務(宿泊棟寮室清掃含む。)	11,154,000	11,258,400	10,504,200	10,790,400	11,119,825	104,400	▲649,800	▲363,600	▲34,175	
	定期清掃業務	4,946,000	4,934,111	4,934,111	4,934,111	4,934,111	▲11,889	▲11,889	▲11,889	▲11,889	
	特別清掃業務(窓ガラス清掃のみ)	215,000	214,500	214,500	214,500	214,500	▲500	▲500	▲500	▲500	
	環境衛生管理業務 (害虫駆除、空気環境測定及び照度測定)	894,000	851,400	851,400	851,400	851,400	▲42,600	▲42,600	▲42,600	▲42,600	
	警備業務	7,794,000	8,880,000	8,880,000	8,880,000	8,880,000	1,086,000	1,086,000	1,086,000	1,086,000	
	植栽業務	1,681,000	1,752,000	1,752,000	1,752,000	1,752,000	71,000	71,000	71,000	71,000	
	寮費の徴収・納付業務	6,048,000	1,044,000	1,044,000	1,044,000	1,044,000	▲5,004,000	▲5,004,000	▲5,004,000	▲5,004,000	
	小 計	49,698,334	45,400,161	44,373,961	44,968,161	45,261,586	▲4,298,173	▲5,324,373	▲4,730,173	▲4,436,748	
	単価契約	産業・一般廃棄物処理業務	1,360,333	1,877,190	1,827,015	1,700,600	1,466,780	516,857	466,682	340,267	106,447
		宿舎用器具類の管理業務	6,497,333	7,441,175	5,611,110	5,807,150	5,509,540	943,842	▲886,223	▲690,183	▲987,793
トイレットペーパーの供給業務		189,333	241,920	161,280	188,160	161,280	52,587	▲28,053	▲1,173	▲28,053	
小 計		8,046,999	9,560,285	7,599,405	7,695,910	7,137,600	1,513,286	▲447,594	▲351,089	▲909,399	
合 計	57,745,333	54,960,446	51,973,366	52,664,071	52,399,186	▲2,784,887	▲5,771,967	▲5,081,262	▲5,346,147		

※ 本表は、消費税及び地方消費税は除いた額である。

(2) 実施経費の評価

平成20年度には実施していない「建築物の点検業務」及び「環境衛生管理業務（空気環境測定及び照度測定）」を除いた経費で比較をすると、平成20年度53,145千円に比べ令和元年度～令和4年度における実施経費の平均額は52,371千円となり、▲774千円（▲1.5%）の削減となった。

また、第1期と第4期の実施経費の平均額を比較したところ、第1期57,745千円に比べ第4期における実施経費の平均額は52,999千円となり、▲4,746千円（▲8.2%）の削減となった。

3. その他

消防大学校施設の管理・運営に係る業務について、市場化テスト新プロセスに移行後も、単価契約分を含めた16項目の業務について一体的に調達し、また、今期（第4期）は、3年間の複数年契約から5年間の複数年契約へ契約期間を延長して入札を行ったことにより、物価の上昇が見られる昨今の社会経済情勢下においても、経費（コスト）の節減が図られるとともに、毎年度における各業務の調達及び支払関係事務や、建物施設設備の維持管理・保全等の庶務課所掌事務について軽減（所掌事務の整理を行い、人員を削減）することができた。

4. 評価委員会からの評価

「消防大学校施設の管理・運營業務に係る評価委員会」各委員に対し、今期（第4期）における本事業の実施において確保すべき質の達成状況、実施経費の節減状況、及び民間事業者からの改善提案による改善実施事項等について説明を行い、チェックを受けた結果、「目標を達成し適正である」との評価を得た。

また、次期事業については、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」に基づく市場化テスト終了プロセスに移行し、消防大学校の責任において実施することについて確認を得た。

5. 評価のまとめ

(1) 評価の総括

今期（第4期）における本事業の市場化テストの実施状況は以下のとおりである。

- ① 事業実施期間中に、受託民間事業者が業務改善指示を受けること、及び業務に係る法令違反行為等を行った実績は無かった。
- ② 本事業実施にあたり、消防大学校に設置する評価委員会のチェックを受ける体制を整えている。
- ③ 本事業入札においては、6者から照会があり、うち2者応札となっており、競争性は確保されている。
- ④ 確保されるべき公共サービスの質として設定した項目及び民間事業者から提案のあった項目に対する履行状況について、良好なサービスの質が達成されたと認められる。
- ⑤ 施設利用者である学生による各学科修了時のアンケート（3段階評価）の各項目における「普通」以上の評価は、各年度とも98%を超えており、施設利用者の十分な満足度を得ている。
- ⑥ 民間競争入札実施前（平成20年度）の実施経費に比べ、令和元年度～令和4年度における実施経費の平均額は52,371千円で、▲774千円（▲1.5%）の削減となっており、経費（コスト）の節減が図られた。

(2) 今後の方針

以上のことから、消防大学校における施設の管理・運營業務については、「市場化テスト終了プロセス及び新プロセス運用に関する指針」に定める市場化テストを終了する基準を満たしており、良好な実施結果を得られていることから、今後の事業は消防大学校に設置する外部有識者等で構成される評価委員会のチェックの下、消防大学校の責任において実施することとしたい。

(別紙)

消防大学校施設の管理・運営業務に関するアンケート結果

項目	年度	評価		
		満足	普通	不満足
1 清掃	令和元年度	82.1%	17.4%	0.5%
	令和2年度	79.7%	19.9%	0.4%
	令和3年度	83.5%	15.7%	0.8%
	令和4年度	81.8%	17.6%	0.6%
2 空調・温度管理	令和元年度	60.9%	34.9%	4.2%
	令和2年度	66.4%	30.5%	3.1%
	令和3年度	65.9%	29.5%	4.6%
	令和4年度	63.0%	32.5%	4.5%
3 施設の備品・消耗品の配備	令和元年度	87.6%	11.8%	0.5%
	令和2年度	85.6%	13.8%	0.6%
	令和3年度	84.4%	14.7%	0.9%
	令和4年度	87.1%	12.1%	0.7%
4 寄宿舎の備品・消耗品の配備	令和元年度	77.9%	20.0%	2.1%
	令和2年度	80.5%	18.3%	1.2%
	令和3年度	78.5%	19.5%	1.9%
	令和4年度	78.7%	19.4%	1.9%
5 警備	令和元年度	70.9%	28.8%	0.4%
	令和2年度	68.8%	31.1%	0.1%
	令和3年度	71.0%	28.7%	0.3%
	令和4年度	66.8%	32.3%	0.9%
総 合	令和元年度	75.9%	22.6%	1.5%
	令和2年度	76.2%	22.7%	1.1%
	令和3年度	76.7%	21.6%	1.7%
	令和4年度	75.5%	22.8%	1.7%